

ごあいさつ

酷暑の候、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、湖誠会に対しまして温かいご支持ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。さて、4月に行われました市議会議員選挙によって、新たな任期がスタートしました。湖誠会は、これからも市民本位の市政実現のために努力してまいります。また、去る5月18日の招集会議において、我が会派の竹内基二議員が第97代大津市議会議長に選出されました。

症拡大から約3年を経た本年5月8日には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類へと引き下げられ、予断を許さない状況が続いているものの、徐々に平穏な日常生活へ向かいつつあると感じております。この間、市議会においては議員一丸となって市民の暮らしと生命を守るために執行部と協調しながら各種施策を進めて参りました。また、議員本人や関係者等の新型コロナウイルスへの罹患により、委員会等に出席できない場合にもICTを駆使し、オンラインにより委員会を開催するなど、市民生活に支障を来さないよう議会機能の維持に努めて参りました。我が湖誠会は、二元代表制の一翼を担う議会人としての自覚を持ち、市民の皆様のお声を大切にしながら、住んでみたい、住み続けたいと思われる大津を築き、次の世代に引き継げるよう所属議員一同、改めて初心に立ち戻り、一丸となって市政の発展に一意専心努力してまいります。今後とも湖誠会ならびに会派所属議員に対し、変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



幹事長 竹内 照夫

前列右より

川口 正徳議員
竹内 照夫議員
竹内 基二議員
寺田 英幸議員

後列右より

草野 聖地議員
青山三四郎議員
葉月 陽 議員

竹内基二議長就任



今年度、湖誠会の竹内基二議員が大津市議会の第97代議長に就任いたしました。大津市議会は、早くから、ICTの活用に取り組み、コロナ禍においてもオンライン委員会を導入するなど、議会の機能維持に努めてまいりました。こうしたDXのさらなる推進を掲げる議長を会派として支え、今後も市民の皆様のために、市政の一翼を担ってまいります。



子どもの医療費助成制度の対象拡大を求める意見書

現在、滋賀県における子どもの医療費については、就学前の子どもは県と市町で折半とする医療費助成を行っており、また就学後の助成については、各市町における財政努力により、独自に中学卒業まで、高校卒業までを助成するなど、子育て世帯の負担軽減に取り組んでいます。

しかし、各市町独自の取組の結果、県内で受けられる助成に格差が生じていることから、滋賀県において、公平に助成が受けられるよう、対象を拡充するべきです。

今議会において、この要望を、湖誠会をはじめ、複数の市議会会派で意見書として共同提案し、採択されました。





幹事長

- 議会運営委員会委員
- 総務常任委員会委員

たけうちてるお
竹内 照夫

〒520-0802 大津市馬場一丁目8番19号

副幹事長

- 議会運営委員会副委員長
- 生活産業常任委員会委員

かわぐちまさのり
川口 正徳

〒520-2271 大津市稲津一丁目15番18号

幹事(会計)

- 議会運営委員会委員
- 総務常任委員会副委員長

てらだひでゆき
寺田 英幸

〒520-2134 大津市瀬田一丁目26番23号

議長

- 教育厚生常任委員会委員

たけうちもとじ
竹内 基二

〒520-0836 大津市杉浦町19番16号

政調会長

- 施設常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員

くさのせいじ
草野 聖地

〒520-0034 大津市三井寺町2番37号

- 施設常任委員会委員
- DX・デジタル化推進対策特別委員会委員

あおやまさんしろう
青山 三四郎

〒520-0865 大津市南郷一丁目4番9号

- 生活産業常任委員会副委員長
- DX・デジタル化推進対策特別委員会委員

はつきよう
葉月 陽

〒520-0844 大津市国分一丁目35番1号

6月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。*質問順に掲載しています。



青山 三四郎 議員

ICT教育の推進について

ICT教育の推進に向け、デジタル教科書の活用が注目されている中、インタラクティブ(対話型)教材の利用による生徒の関心惹起と理解力向上、教職員の負担軽減などを見据え、具体的な施策を大津市教育振興計画や教育大綱に織り込むことを検討すべきと考えるが、見解は。

多様化するデジタル教材を効果的に活用し、子どもたちの関心や理解力を高めることは、個別最適な学びと協働的な学びの充実につながることから、非常に重要であると認識しており、次期教育振興基本計画及び教育大綱への反映に向け、検討を進めていく。

* * * * * ※他に1項目の質問あり。



川口 正徳 議員

南部地域における振興対策について

大戸川ダム周辺整備、地域振興については、ダム建設と歩調を合わせながら、人々が集い地域振興に寄与できる施設等の整備方針を検討すべきとの声が地域からも上がっているが、今後の予定について伺う。

令和3年8月に淀川水系河川整備計画(変更)が策定され、大戸川ダム水源地域整備計画事業の進捗や事業実施に向けた課題等について大戸川ダム工事事務所、県と協議し、水源地域である牧町、大鳥居町とも地域振興に係る意見交換を行ってきた。

引き続き大戸川ダム工事事務所、県と連携しながら、地域の声や実情を踏まえ、地域振興に係る協議を行っていく。

* * * * * ※他に4項目の質問あり。



葉月 陽 議員

本市の資源回収に係る諸課題について

通学時間帯に横行する資源ごみの持ち去りは、市の財源損失だけでなく地域や子どもたちの安全面でも課題があるが、本事案への対応状況及び今後の取り組みは。

持ち去り禁止の看板による啓発に努めるとともに、職員が集積所の巡回や持ち去り行為の取り締まりなどを行っているほか、行為者

への指導の際の警察官の同行や、監視地域での警察による早朝パトロールなど、警察に協力を求めるとともに、合同パトロールを検討するなど、さらなる抑止に努める。加えて今年度は、資源ごみの定期収集日に職員パトロールを実施しており、引き続き有効な対策の研究を続ける。

* * * * *



寺田 英幸 議員

大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機とした観光事業の推進等について

大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機として、紫式部ゆかりの地への誘客を促進するため、共感を生み出すプロモーションの推進と福井県越前市、京都府宇治市との連携事業が重要と考えるが、市の見解は。

大河ドラマをきっかけに紫式部や平安時代の文化などに注目が集まることから、それと本市の多様な魅力を合わせたPRが重要であり、視聴者のみならず幅広いターゲットに話題を提供していく。また両市とは平安時代の歴史文化等を活用した情報発信や観光振興等について連携協定を締結したことから、協力して大河ドラマを契機とする地域活性化につなげていく。

* * * * * ※他に2項目の質問あり。



「光る君へ」PR看板(JR石山駅)

* * * * *



竹内 照夫 議員

膳所駅南側周辺整備事業について

膳所駅南側周辺整備事業の早期事業化と速やかな事業推進が望まれる中、今後の膳所駅南側周辺の土地利用を含めた全体計画に対する市としての見解は。

令和3年度に実施したマーケットサウンディング調査における民間事業者からの意見としては、「駅前広場は周辺敷地と一体的な整備が望ましい」とのことであった。

このようなことから、今後は、周辺土地所有者や関係権利者の意向を確認しながら、土地利用の方向性を見極め、事業手法を含めて総合的に判断する必要があると考えており、民間活力の導入等も視野に入れながら検討を進めていく。

* * * * * ※他に1項目の質問あり